

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立神埼清明高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	学校教育目標の「めざす生徒像」を教室の電子黒板に表示するなど、生徒への教育目標の浸透と達成に向けた取組を促した結果、3年生はそれぞれの進路目標を達成することができ、1, 2年生も個々の目標を意識して取組を続けることができるようになった。学校評価アンケートでは、生徒、保護者ともに授業や学校行事等について概ね高い評価を得た。現在行っている総合学科の特色を活かしたカリキュラムの構築に引き続き取り組み、全ての教育活動の質の向上を目指す。
------------------	--

2 学校教育目標	教育指針 「はずむ生命 ひかる生命 ～君と生きるために～」 めざす生徒像「より良き人生を送るために、学び、考え、挑戦する生徒」 ⇒「清明力」の育成 主体性・思考力・創造力・計画力・実行力 「より良き社会を創るために、自他を尊重し、協働する生徒」 ⇒「清明力」の育成 自己肯定力・寛容性・規律性・対話力・発信力
----------	--

3 本年度の重点目標	① 生徒が主体的に学び、考える授業を目指す。 ② 生徒が自分の夢や目標に向けて挑戦するキャリア教育に取り組む。 ③ 社会人として必要なマナー、モラルを育成する。 ④ 豊かな心を育む教育の充実を図る。 ⑤ 総合学科の特色を活かしたカリキュラムを構築する。 ⑥ 学校における働き方改革を推進する。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○授業の充実、改善	○生徒が「学び」、「考え」、「挑戦する」授業を目指して、生徒の授業満足度を80%以上とする。	・各学期に1回の公開授業週間を設定し、教員が指導方法を学び、考える機会とする。 ・各教科で1回以上の研究授業を実施し、授業の工夫・改善を促進する。							各教科主任 各系列主任
	○「学びの基礎診断」の活用による学力の向上	○上位～中位の生徒数が昨年度より増加し、中位～下位の生徒数が昨年度より減少する。	・「学びの基礎診断」を活用し、基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルを確立する。 ・測定ツールにより生徒の学習状況を多面的に評価し、指導の充実・改善を図る。							各教科主任 各学年主任 進路指導主事
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○より良き社会を創るために自他を尊重し、協働する「清明力」の5つの資質・能力のうち、3つ以上の項目が高まったと自己評価する生徒の割合を80%以上とする。	・人権教育に関する講演会を実施する。 ・授業や講演会で情報モラル教育を行う。 ・道德教育の全体計画に基づいて授業を行う。							人権教育担当者 情報モラル教育担当者 道德教育担当者 各系列主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止(いじめの定義、いじめ防止の取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員の割合を90%以上とする。	・生徒の様子を常に観察し、小さな兆候も見逃さない。 ・いじめアンケートを年2回以上実施する。 ・学年、系列の縦・横の情報共有を密にし、教育相談との連携を図る。							生徒指導主事 各学年主任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒の割合を90%以上とする。	・保健だより等で食に対する意識を高める。 ・食に関する意識調査を実施する。							保健主事 養護教諭 食育教育担当者
	○健康に関する自己管理能力の育成	○健康診断後の受診率が前年度を上回る。	・健康診断後の受診勧告書を生徒に渡し、受診を促す。 ・保健委員が中心となり健康観察や教室の換気、消毒等を行い、感染症等の予防対策を行う。							保健主事 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定する。 ・部活動休養日を設定する。 ・学校閉庁日を設定する。 ・業務削減(縮減)を検討・実行する。							管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○進路指導	○進路希望の実現	○第一志望の大学・短大・専門学校への合格率100%を目指す。 ○就職内定率100%を目指す。	・進路検討会を充実させ、生徒の希望、適性に応じた的確な進路指導を行う。 ・受験指導、面接指導の充実を図る。							進路指導主事 3年学年主任、担任 各系列主任
◎総合学科の特色を活かしたカリキュラムの構築	◎1年次:職業観の育成による進路を見据えた系列の選択 ◎2年次:系列の特色を活かした地域との交流及び外部機関等との連携 ◎3年次:系列の学びの集大成としての課題研究の充実	◎自分の「系列選択」に満足する生徒の割合を80%以上とする。 ◎「清明力」の10の資質・能力のうち、5つ以上の項目が高まったと自己評価する生徒の割合を80%以上とする。	・1年次は「系列」の説明や体験授業、職業に関する進路ガイダンス、進路見学会等を実施する。 ・2年次は地域交流や外部機関等と連携したプログラムを実施する。 ・3年次は系列の学びを深め、集大成としての課題研究を実施する。							教務主任 各系列主任 各教科主任 各学年主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--